

地域学校協働連携NEWS

こちらの二次元コードから、閲覧・ダウンロードができます →



下郷町学校運営協議会 ～ 江川小学校 ～

7月23日(火)、下郷町における学校運営協議会の様子を取材しました。下郷町では『下郷町教育大綱』に基づいて、新しい時代を創る人材の育成を目指し、地域とともにある学校づくりを推進しています。その一環として、令和4年度より下郷町内全ての小・中学校でコミュニティ・スクール(学校運営協議会)が設置され、各校で実践されています。今回は第一学期を終えて子供たちが夏休みに入ったこの時期に開催された江川小学校の学校運営協議会を訪問しました。当日の協議会には区長さんをはじめとする地域の中から委嘱された委員の方々やPTA役員、教職員等の15名が参加し、約1時間に渡り活発な意見が交わされました。



教職員と地域の委員が顔を合わせて

協議では、はじめに校長先生より第1回学校評価アンケート結果についての説明がありました。アンケート結果はグラフ化され、成果と課題を今後の教育活動に反映させるために活用されています。



意見交換の場では、地域連携活動の今後の予定や地域の方に協力いただきたい内容等について、教職員一人一人から発言がありました。

「江川小が行っているスロージョギング『あいさつ』はとてもよい取組だと感じています。町全体にも広げたいくらいです。」
(県森の案内人 小椋さん)

「少しでも先生方の悩みを解決に繋がられるように、応援する組織でありたいと思っています。」
(大内区長 浅沼さん)

「一学期を終えてすぐのこのタイミングで学校評価アンケート結果やその補足説明を対面で聞き、話し合うことができて有意義でした。」
(PTA会長さん)

今回訪問した学校運営協議会は、期日だけでなく参加者構成にも特色があります。職員室待機職員を除く全ての教職員がこの会に臨んでいました。この時期ならではの工夫と言えます。会では、教職員一人一人だけでなく、委員の方々からも地域住民側から見た学校・江川っ子・先生方に関する発言がありました。1つの話題でも異なる見方による意見が交わされており、有意義な協議となりました。様々な話題において途切れることなく交わされていた各参加者の意見には「学校をよりよくするために」「子供たちのために」という共通の思いと願いが込められています。「全教職員と委員の皆さんが、今回のように直接顔を合わせて意見交換するのは貴重な機会です。」という渡部校長先生の言葉に、今回の学校運営協議会が学校運営に果たす意義・役割の大きさを感じました。